



事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	入野雨水幹線の開渠を暗渠化することにより、住民が安全かつ快適な生活を送れる。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	入野雨水幹線の暗渠化完了後の早急な道路整備が必要である。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	生活道路を効果的に活用するため雨水幹線を改修する。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	現場にふさわしい工法を採用しコスト削減を目指す。	● 高 ○ 中 ○ 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 必要性、有効性、妥当性、効率性の総合評価は高い。効率性の部分で工法検討を行い、更なるコスト削減に取り組む。				

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				入野雨水幹線改修 工事	入野雨水幹線改修 工事	入野雨水幹線改修 工事		
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	106	150	0	0	0
	起債	0	0	35,200	49,800	60,000	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	24	50	0	0	0
事業費 (A)		0	0	35,330	50,000	60,000	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	70.66				
内 訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.40	0.40	0.40	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	3,357	3,357	3,357	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	38,687	53,357	63,357	0	0

## 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<b>&lt;判断理由&gt;</b> 入野雨水幹線が平成21年度で区切りよく完了させるために、事業費を少し拡大する。	
平成21年度 of 取組方針	
平成20年度に引き続き入野雨水幹線を改修し暗渠化を図る。	
課長コメント	計画的に事業を進めています。21年度の完成に向けて今後も進めていきたい。